

21日診療所署名を提出



2,020筆、住民の90%近くが署名

米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党湖北地区議員団
事務局 藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

醒井地域の医療を守る会(会長 江龍健一 醒井自治会長)が進めていた署名活動が一定まとまる中、市長に署名簿を提出しました。地域医療に対する住民の切実な要求がこの署名につながったものと考えています。今後議会において請願書を提出し、新しい診療所早期実現につなげていきたいと考えています。21日午後から湖北生活と健康を守る会と山脇議員は合同でワクチン接種について要請行動を予定しています。

経過について

新型コロナワクチン接種で市民の願いを要請

○年明けに枝折の松下医院が3月末での閉院を告知。市民から不安の訴えが多数。
○3月5日「地域の自治会長、民生委員、地元選出議員、生健会役員で懇談を行い、「守る会」を結成。
○3月20日署名のお願いを地元5自治会へ依頼する。
○4月9日顧問議員が市長に要請。
○4月15日「守る会」役員8名が市長と懇談。
○4月23日守る会主催で「松下先生の感謝の集い」開催。中日新聞、京都新聞、滋賀民報で「感謝の集い」の様子が報道される。

○5月21日湖北生活と健康を守る会と日本共産党山脇議員は懇談を行いました。これは5月7日連名で要望書を提出したことによる懇談です。
○状況が刻々と変わる状況で住民の要望をしっかりと把握して応える施策が求められます。

○65歳以上の接種は取り組まれていますが、基礎疾患をかかえている方、また65歳以下の方々には接種を行わなければなりません。
○変異株が広がる中、若い世代への接種が進まない限り多くの国民が抗体の確保には至りません。

○多くの人が抗体確保し、感染の広がりを抑え込むためには無症状感染者の把握と変異株の把握が必要でその為にはPCR検査は必須です。

署名簿の提出と今後の活動

○5月21日11時から米原新庁舎において市長に署名を届けます。
○今後「ケアセンターいぶき」や「フクシア」の指定管理者である「地域医療振興協会」との懇談会を予定しています。
○6月議会に診療所設置の請願書を提出予定です。

○この様なことも市に強く要望する必要があります。
○懇談会の様子は、次号で報告します。

守る会の結成を伝える「滋賀民報」

「地域の医療を守る会」結成
自治会、住民らが署名活動

「多様な性、認めて」
民権が「ジェンダー平等」

「赤旗」
日本共産党米原市議員団

「通学バスの安定運行を」
米原市立八日市児童学校を視察

YouTubeを始めました。
チャンネル登録をお願いします。



雑感

京都は非常事態宣言がでています。岐阜は蔓延防止措置が出されており県としては非常事態宣言を国に要望しています。その間に挟まれている滋賀県。本当に大丈夫かと思えます。

その中で、三日月知事夫妻がゴルフコンペに参加していたとのこと。100人を越える参加者がいたという。まったく不要不急。県民に控えるように言っているリーダーが、このような失態。子ども達が、運動会や修学旅行が中止になり本当にかわいそうな中で、おとながこのような自分の都合で平然と行うことは許されない。子どもたちに謝れと言いたい。オリンピックも然り。聖火リレーも走る気満々。子どもたちには、おとなの事情は分からない。多くは金が絡んでいる。そんなことで国民の命が脅かされる。こんな状況で運動会(オリンピック)やる気なのか。国民の命より大切なものがあるか。